練馬区子ども読書活動推進会議(第７期第３回)要録

日時：平成26年６月30日（月）　午後２時から
場所：光が丘図書館視聴覚室

●参加者
○出席委員　工藤、塙、澤井、新村、田村、小宮
○欠席委員　漆澤、関、橋爪、吉岡、植松、神田、長島
○事務局　加藤光が丘図書館長、瀧川子供事業統括係長、同係河嶋

●議事等
○練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）各所管平成25年度取組状況について
○練馬区子ども読書活動推進に係る関係施策目標値の達成状況について
○平成26年度「子ども読書の日」記念事業の実施結果について
○南大泉図書館分室こどもと本のひろばの平成26年度の状況等について
○練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）の策定予定（案）について
○練馬区子ども読書活動推進会議提言案骨子について

●配付資料
資料１：練馬区子ども読書活動推進会議第７期委員名簿
資料２：練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）各所管平成25年度取組状況
資料３：練馬区子ども読書活動推進に係る関係施策目標値の達成状況について
資料４：平成25年度「子ども読書の日」記念事業の実施結果について
資料５：南大泉図書館分室こどもと本のひろばの平成25年度の状況等について
資料６：練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）策定予定（案）
資料７：練馬区子ども読書活動推進会議提言案骨子
参考１：平成25年度　児童・生徒の読書状況調査等の結果について
参考２：練馬区立図書館ビジョン（概要版）

●会議要録
○事務局
　事務局からご報告いたします。
　本日の欠席委員は、漆澤座長、関副座長、橋爪委員、吉岡委員、植松委員、神田委員です。なお、傍聴の方は、１名となります。

**　また、練馬区子ども読書活動推進会議第７期の委員につきまして変更がありました。選出区分の中学校、開進第四中学校の新村校長先生が新たに委員となりましたのでご報告いたします。**
それでは、新村委員より一言ごあいさつをお願いします。

（新村委員　自己紹介）

○事務局
**　本日の進行について光が丘図書館長よりご報告、提案がございます。**

○事務局
**　光が丘図書館長の加藤です。本日、漆澤座長と関副座長が急遽欠席となりました。この会議につきましては、座長が進行を務めることになっており、座長が事故の場合は、副座長が職務代理することとなっています。なお、練馬区子ども読書活動推進会議設置要綱の第８条で、推進会議の運営に必要な事項は、座長が推進会議に諮って定めるという条項がございます。そこで、先ほど座長に連絡し、事務局（館長）で会議の進行をさせていただくことと、報告、議題について、事務局から説明のみさせていただき、議題の決定については行わないということでよいと指示を受けました。この件につきまして各委員のご意見を伺いたいのですがいかがでしょうか。**

（異議なし）

○事務局
**　それでは、本日の会議の進行については事務局（館長）で行い、議題について決定はしないということで委員の皆さまにお諮りし、了承をいただいたということで進めさせていただきます。**

○館長
**　ただいまより、第７期の第２回練馬区子ども読書活動推進会議を開催させていただきます。次第に則って議事を進めたいと思います。まずは報告案件の(1)練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）各所管平成25年度の取組について、および(2)練馬区子ども読書活動推進に係る関係施策目標値の達成状況について、事務局よりご説明させていただきます。**

○事務局
**　資料２をご覧ください。練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）各所管平成25年度取組状況は、昨年どおりの取組項目です。前年度と比べて特に変更がみられた取組項目につ**

いてご説明いたします。１「家庭・地域社会における読書活動の推進」の（３）「地域社会で読書推進にかかわる人材・団体の育成と支援」の②「読書活動ボランティアの養成と活用」についてでございます。図書館において、図書館ボランティアフォロー講習会の実施を平成25年度に新たに行いました。受講生は13人でした。

次に、２「区立図書館における読書活動の推進」の（９）「学校支援モデル事業」についてでございます。指定管理者館担当校が、平成24年度の33校から平成25年度は52校となりました。平成26年度からは、小竹図書館が指定管理者館となったことから60校となっております。

続きまして、４「読書活動推進のための施設や設備の整備・充実」の（1）「区立図書館受取窓口の拡大」についてでございます。平成25年度開設準備をしておりました石神井公園駅受取窓口が、本年の４月10日に開設となり、現在一日平均120名強の利用がございます。平成27年４月以降には、新たに大泉学園駅に開設する予定です。資料２についてご説明は以上です。

次に、資料３についてご説明いたします。指標１「事業の開催回数」は、ほぼ横ばいとなっておりますが、「事業の参加人数」は24年度と比べ大きく伸びており、これは各館の実施した事業の情報発信等、経年による事業が定着されて伸びたものと思われます。

「本の探検ラリー実施学級数」は、目標値を大きく上回っており、学校の「本の探検ラリー」に対する認知や浸透が見て取れます。

次に、指標２「団体への貸出冊数」は減少しておりますが、これは平成24年度までは、図書館事業で使用した資料数も団体貸出数に含んでおりましたが、平成25年度からは除外したためと思われます。

「ボランティア活動回数」は、目標値には及びませんでしたが、上昇傾向にあります。講習会等による養成を行ったことから区民との協働が図られたものと分析しております。

「ボランティア活動人数」も微増ですが伸びております。

次に、指標３「子どもへの貸出冊数」は、減少傾向にあります。子どもを取り巻く社会や遊びの質的な変化が起こっていることなども要因と思われます。今後、分析、調査研究が必要と考えるとともに、さらなる図書館のソフト面での充実に取り組むべきと考えます。

「児童書および青少年向け図書の蔵書数」については、順調に伸びており、引き続き魅力ある書架づくりを目指した蔵書に努めます。

資料２・３についてご説明は以上です。

○館長

資料２では、練馬区の各所管で取り組んでいる、平成25年度の子ども読書活動の推進に関わる各種事業の状況について、報告がありました。資料３では、計画で定めている指標について、平成25年度から26年度に計画期間を延ばし、併せて数値目標を変えたところでありますが、本計画で定めた目標値の平成25年度の達成状況について、説明がありました。

それでは、ただいまの報告につきまして、各委員からご質問やご意見はありますか？

○委員

資料２の１「学校（幼稚園・小学校・中学校）における読書活動の推進」の（２）「小学校や中学校における読書活動の推進」の⑤「学校図書館の運営」の回答について、「学校図書館開放事業実施校42校で、学校図書館の運営を各学校応援団に委託している」とあるが、学校応援団は、児童の放課後の居場所として学校図書館の運営を受託しているだけなので、学校図書館を運営をしているというのは違うと思う。

学校図書館の運営について、計画では、学校図書館担当教員が中心となって、資料の収集や読書指導等充実させる、また学校支援モデル事業や学校図書館の運営を支援する保護者や地域の方々と運営の充実を図ることであって、学校応援団の活動がこの項目に含まれているのがおかしいのではないかと思う。

○事務局

この項目については、開放事業について学校応援団に委託しているという趣旨で記載しておりますが、誤解を生みやすい表現になっています。今の委員のご指摘を踏まえて、記載方法について訂正をさせていただきたいと思います。

○委員

同じく⑩「学校図書館の地域開放」についても、学校図書館づくりは学校が主体となって行っていくもので、開放図書館はその場所を使わせてもらっていると考えている。

○委員

開放部会にも図書の購入の予算を持っており、図書館の蔵書作りは学校と開放部会とが協力をして行っている部分もあると思う。

○委員

開放部会は学校の運営を妨げないよう活動しているので、やはり学校図書館づくりは、主体は学校であると思うので、学校図書館づくりを開放部会が行っているという書き方は誤解を生むと思う。

○事務局

学校図書館づくりについては、基本的には学校が主体ですが、管理員や支援員も入っており、また開放部会とも連携して行っているという趣旨で、こちらの項目についても、記載方法について所管課と調整をさせていただきたいと思います。

○館長

資料３の指標１「事業開催数」は増加傾向にありますが、指標２「団体への貸出冊数」の減少や、指標３「子どもへの貸出冊数」の減少について、先ほど事務局から統計の数の採り方の見直しを行ったと説明させていただきました。横ばい、もしくは減少傾向にあることは課題として認識しております。「児童書および青少年図書の蔵書数」については増加しておりますが、貸出数が横ばい、減少傾向にあります。何かこれらの指標についてご意見等はありますか。

○委員

「事業の開催回数」について、図書館のおはなし会等各館で毎月毎週のように行っていると思うが、ここでいう事業とはどういうものが含まれているのですか？

○事務局

子ども読書の日の記念行事、各種講習会、昆虫教室、本の探検ラリー（図書館）となっております。

目標値を当初設定した際に指標数値に含む事業を固めていますので、実際は図書館でさまざまな事業を行っておりますが、おはなし会やよみきかせ等はこの指標の数に含まれておりません。

○委員

資料２の図書館における児童へのサービスの項目で、おはなし会・おたのしみ会等の実施が延べ36回となっている。この回答は、誤解を生むので事業の内容の表記を明確にした方がいい。

○事務局

次回の計画策定の際の指標設定については、整理していきたいと思っております。

○委員

資料３の指標３「子どもへの貸出冊数」について、親が借りて子どもが家庭で読んだ場合は含まれないのか。

○事務局

貸出冊数は、児童書という区分けで統計を取っているので誰が借りたかということではありません。

○委員
　ここ２年くらいで貸出冊数が減った原因は何か？子どもを取り巻く状況がここ２、３年で急に変わったわけではないと思う。

○事務局
　先ほど「団体への貸出冊数」が横ばい、減少傾向にあることについて、事務局から図書館事業で貸出したものを抜いた数だという説明をさせていただきましたが、児童書の貸出についても同じことがいえます。こちらについても、図書館事業で貸出したものを除き、純粋に利用者が借りた数だけで統計を取るように精査したことも冊数が減った原因の一つと考えます。

○委員
　「団体への貸出冊数」が平成23年度、24年度あたりで増えている一方で、児童書の蔵書数はそれほど増えていない。計画期間を延長した際に、団体への貸出冊数の目標値を75,000冊から125,000冊に増やしているが、団体への貸出冊数を増やした結果、子どもが自由に借りられる本が減って貸出冊数が減るということにはならないだろうか。

○事務局
　団体貸出用の図書も用意しておりますが、一般の児童書の中から団体貸出に使用することはあるので、そういう可能性も否定できません。もう少し分析をする必要があると考えています。

○館長
　それでは次に、報告の(3)平成25年度「子ども読書の日」記念事業の実施結果について、および、(4)南大泉図書館分室こどもと本のひろばの平成25年度の状況等について、合わせて事務局よりご説明いたします。

○事務局
　資料４をご覧ください。「子ども読書の日」記念事業の実施計画につきましては、資料のとおり事業と講演会を行いました。今年度におきましても、子どもはもちろんのこと、親子で楽しめる事業を各館とも企画しております。
　続きまして、資料５についてご説明いたします。平成25年４月23日に開館し、子どもと保護者を対象とした蔵書となっております。各種おはなし会の開催、これらは図書館における児童サービスだけでなく地域の保育園、児童館、地区区民館等子どもの生活に密着した様々な機会においても行われています。

○館長

資料４については、子ども読書の日にあわせて行われた各館の事業の報告をさせていただきました。資料５については、第６期の推進会議でも検討していただいた、こどもと本のひろばの平成25年度の事業実績の数値となります。こどもと本のひろばの特徴としましては、随時のおはなし会や出張おはなし会等、臨機応変に子ども向けの事業を実施していることがいえます。
こちらについてご意見ご質問があればお願いします。

○委員

新しい施設が建って一年経ちましたが、利用者のアンケート等は行っているか。

○事務局

こどもと本のひろばで、アンケートは行っておりませんが、練馬区で初めての試みの図書館なのでどのような利用がされている等は今後分析が必要と考えています。

○館長

図書館各館の利用者アンケートは毎年２月に行っており、まもなく図書館ホームページで公開する予定です。アンケートは南大泉図書館で実施しており、分室単独で行ったものがあるか確認していません。確認して、もしあれば、ご報告させていただきます。
なお、こどもと本のひろばについて今後どうするか、新たな施設が必要なのかどうかについても委員のご意見を伺いたいと思います。

○委員

他の館でも、子どもの本の貸出数、おはなし会等事業の実施状況や参加人数等まとめたものはありますか。地域ごとの状況は参考になると思う。

○事務局

各館の子どもの本の貸出や事業の実施状況等、地域ごとの傾向等のわかる資料の用意を検討いたします。

○館長

それでは次に、次第の３の議題にうつります。（１）練馬区子ども読書活動推進計画（第三次）の策定予定（案）について、事務局よりご説明いたします。資料６とあわせて参考１もご覧ください。

○事務局

まず、資料６についてご説明します。第三次練馬区子ども読書活動推進計画の今後の策定予定です。子ども読書活動推進会議と子ども読書活動推進計画検討委員会の予定をお示ししています。

子ども読書活動推進会議では、６月、本日の会議で提言書（案）についてご検討いただきたく思います。７月には提言書をまとめ、８月中旬を目途に区に提言書を提出をする予定です。推進会議の提出を受けて、策定委員会で９月以降、計画の素案の策定をしていきます。11月の下旬に推進会議に素案の報告を行う予定です。その後、推進会議との調整を経て、12月に計画素案を決定し、翌年１月には計画素案の区民意見反映制度、パブリックコメントを受けて、２月に策定委員会で計画案の策定を行い、３月に推進会議に計画書を報告させていただく予定です。

前回の会議で推進計画の計画期間を、区の長期計画にあわせて１年延長した経緯があります。現在、区では、長期計画的なもの、政策のビジョンを作る予定があり、その進行に併せた策定予定案となっています。区のビジョンの策定状況がずれることがあれば、あわせて今回お示しした策定予定も変更となるということがあります。

次に参考１ですが、東京都の教育委員会地域教育支援部で公表された資料です。東京都は第三次の子供読書活動推進計画について、６月に検討を開始し、８月にパブリックコメントを行い、10月に計画策定を進めていくという状況です。

また、東京都の第二次計画および国の計画では、児童生徒が１か月間に本を読まなかった割合、不読率、未読者率を数値化して目標値に設定しています。また本を読まなかった理由や未読者をとりまく環境等が記載されていますので、参考までにお示ししたところです。

○館長

ただいまのご説明につきまして、ご質問等はありますか。

○事務局

続きまして議題の（２）練馬区子ども読書活動推進会議提言案骨子について、ご説明いたします。資料７をご覧ください。

前回の第二回の推進会議におきまして、計画の方向性についてご議論いただき、今回、事務局と座長が「提言書」という形で文章にし、皆様にお諮りする予定でありました。

前回までは概ね、子ども読書活動の意義等についてのご意見が中心でしたので、今回の資料７により更に、具体的なご提案をいただきたく、次期計画の主な構成、章立てをお示しして、ご議論をお願いするものです。

まず、１「家庭・地域社会等」の（１）「家庭・地域社会等への啓発と支援」では、乳幼児期、児童・青少年期を通じた啓発と支援について、ご意見をいただきたいと思います。

前回までの推進会議でのご意見では、ボランティアの活動人数の増だけでなく、質の向上に取り組むべきとのご意見をいただいています。（２）「保育園、児童館等における読書活動の推進」の項目では、改めて保育園や学童クラブ等で試みることがあるかどうか、お伺いしたいと思います。

２「学校（幼稚園・小学校・中学校）」の（１）「学校における読書活動の推進」では、学校図書館の人的配置と研修等による人的支援の質の向上について議論いただきました。また、ひろば事業（児童放課後等居場所づくり事業）において、読書活動ができているかとの意見がありました。（２）「読書に親しむための施設や設備の充実」です。これらについてあらためてご意見をいただければと思います。

３「区立図書館」の（１）「読書活動の推進」では、よみきかせやおはなし会、本の探検ラリーなど図書館としての読書活動推進を図る事業の充実として何か、同じく図書館としての子育て家庭への支援や児童書の貸出の拡充について何かご意見があるか伺います。（２）「読書に親しむための施設や設備の充実」についても同様にお願いします。

４「関係団体等の連携・協力」については、図書館と保育園、学校や団体等との連携、協力についての項目です。

これらの個別に章立てした項目について、フリーでご意見をいただいて、提言書に盛り込めるかに関して座長等と事務局で調整をさせていただきます。

○委員

未読者の割合が小学校１、２年生の２％台から小学校４年生で４％台に増えているのは、自分の周囲を思い返しても納得できる。未読者をとりまく環境で、身近な人との読書体験が少ないという調査結果もよくわかる。現在、幼稚園でよみきかせは盛んで、小学校でも低学年まではボランティアによるよみきかせも行われている。読んでもらうという体験は昔より機会が増えていると思うが、これらの主に絵本を読む年代を過ぎて、小学校４年生以上になって本から離れてしまうのは、子どもにとってもったいないと思う。

身近な人が本を読んでいると子どもに影響を与えられるというのであれば、親が子どもに本を読ませるようにするのではなく、自分でも読むようになればいいのかなと思う。親が読んでると子どもも興味を持つのではないか。

学校や図書館で読書活動につなげる取り組みはたくさん行われている。それでも数字が伸びないのは、家庭に本がなかったりするのかもしれない。

何か保護者向けの取組があってもいいのではないかと思う。

○委員

学校図書館の役割はとても大事だと思う。子どもの様子をよく見て、その子どもにあった本を勧められると読書につながると思う。

本の探検ラリーでは、運営に保護者にも参加してもらっているが、子どもの本に触れて、

この本がおもしろそうだとかいう言葉もよく聞かれる。大人も一緒に子どもの本に接する機会を作ることも必要だと思う。子どもに本の楽しさを体験させられる、それらを手助けできる人材や場所があるといいのではないか。

学校でおはなし会をした際、支援員がその本を展示したコーナーを作ったりしている。他にも事業をした際にあわせた展示をしたり、ニュースだとか世の中の動きにあわせた展示をしたりすると子どもの興味を惹くと思う。支援員や管理員等の本の専門家がいるとそういうことができる。

○委員

自分の体験からいうと、親が買い求めたり、学校で勧めたり、宿題に出される本等は子ども一人ひとりが本当に求めている本なのかと疑問に思う。勉強のための本という感じがする。

○館長

今の委員のご意見は、学校図書館の支援員、管理員による本の準備や推薦の仕方や、学校側で保護者や児童生徒に対して行っている本の紹介などはどういうものなのかというものだと思いますが、そのあたりはいかがですか。

○委員

どの学校でも同じことをしているわけではないが、学校図書館の充実、読書について充実させるということは東京都も言っているし、区でも取り組んでいる。本校でも学校図書館の管理員が年間100日入っていて、これは学校開校日の２日に一度の計算になる。管理員と学校側の図書担当者とで発達段階にあわせて、学年ごとにお勧めの本をジャンル別にリストアップして選んでいる。児童によって、読書の深さに差があるのでレベルアップの部分も設けている。

毎週の朝読書の時間も設けていて、児童が本を手に取る機会は以前より増えていると思う。また今年は、ブックレターといって、子どもが読んで楽しかった本について書いて友だちと交換し合うことを実施したり、学校によっては書評合戦を行ったりする等、さまざまな取組を行っている。

○委員

前に勤務していた自治体では未読者率が高くて、（中）学校でも朝読書の取組を行っていた。今の（中）学校では、朝読書は行っていないが、今年度から初めて支援員が週２日学校図書館に配置されて、その効果は絶大だと思う。学校図書館のレイアウトや話題のワールドカップ等の特集コーナーづくり等に取り組んでいただいている。学校の教員では授業があり、こうした取組を継続的に行っていくのは難しいので、非常に助かっている。

○館長
　練馬区の高校生の未読者率の状況を把握しておりません。中高校生向けに何か読書に取り組んでもらえるような施策や事業をできないかと考えているのですが、この点についてご意見はありますか。

○委員
　子どもたちも本に興味は持っていると思う。ただ本の好みは千差万別なので、その子どもが興味を示すものが何なのかをうまく引き出すことができれば読書につなげることができるのかなと思う。

○委員
　都の調査結果を見ると、未読者率が平成23年度から25年度で半減している。学校等の努力が数値として表れているようだ。

○館長
　国はさらに半減させる目標を持っております。他の自治体を見ますと未読者率を０％にすると掲げている計画もございます。未読者率は減っており、学校や図書館が努力をしていないわけではありませんが、さらにどうすべきなのかということもあります。

○委員
　学校側の努力について話があったが、例えば、お勧め図書のリストの作成やコーナーの設置等、保護者への情報提供は、図書館で行える取組かなと思う。

○事務局
　今後、高校生向けの情報提供も検討しております。また、小中高生の保護者への情報提供は、図書館の役割でもあると認識しております。

○委員
　学校でも支援員が保護者向けのおたよりを作っていると聞いた。そのあたりをさらに充実することで読書活動の推進になるのではないかなと思う。

○館長
　最後に、こどもと本のひろばの今後の役割について、将来区東部に作るべきかどうかも含めて、何かご意見があれば伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

○委員

ニーズとして、小さいお子さん向けの施設があれば、機能すると思う。図書館の改修工事の時に、そういった機能が入るといいのではないか。

○委員

図書館でも幼児向けにいろいろと実施している。児童館でも行っている。読書に関する取組をそのあたりでつなげていくとよいのかなと思う。

○館長

各委員からのご意見が出そろったようです。本日行った意見交換の内容は、事務局で取りまとめ、当会議による提言という形にさせていただきます。事務局と座長とで「提言案」という形で文章にし、次回は、皆様にお諮りしたいと思いますが。いかがでしょうか。

（異議なし）

○事務局

次回の第四回の練馬区子ども読書活動推進会議ですが、本日、座長の予定が確認できないため日時はご案内できませんが、７月の下旬から８月初旬の間に開催をしたいと思います。夏休み期間中でもあり、各委員におかれましては、ご予定等あると思いますが、できる範囲でご出席をお願いします。開催通知等は後日、送付させていただきますので、よろしくお願いします。なお、ご欠席の予定の委員には、事前に提言案文を事務局より送付します。ご意見がありましたら、次回の会議までに事務局までご連絡いただきますようにいたしますがいかがでしょうか。

○委員

開催日時については、いくつか候補を上げてもらえるとありがたい。

○事務局

ご意見を踏まえまして、開催日時については、候補を上げて調整させていただきたいと思います。

それでは以上をもちまして、第７期の第三回練馬区子ども読書活動推進会議を終了いたします。ありがとうございました。